

R3 ライフステージ（すがだいら保育園）_やまほいく事業【まとめ】

日 時 令和3年10月20日（水）9：00～11：40
会 場 すがだいら保育園、自然体験の森
参加人数 35名…園児30名、引率（園長及び保育士）3名、
NPO法人やまぼうし自然学校2名 ※事務局2名

【すがだいら保育園（信州型自然保育認定園）での自然保育（体験活動）】



活動内容：

すがだいら保育園において、野山での自然遊びを体験する野外遊びを企画し、NPO法人やまぼうし自然学校のインタープリター（自然観察指導者）のお二人に指導いただく形で、自然体験活動を実施した。

○保育園から「自然体験の森」へ

- ・ 出発前に園長先生から、やまぼうし自然学校のインタープリターの2人を紹介。
- ・ 移動の際の注意事項や、森に着いてからのネイチャーゲームなどについて説明。
- ・ 40分ほど歩いて、「自然体験の森」入口に到着。



○森へ到着後のアイスブレイク

- ・ 森の広場に着くと、落ちていた木の実を拾い、先生たちに「やまぼうしの実だよ」などを報告。
- ・ 園児たちはロープを掴んで円状に広がり、目印の部分を指定の場所まで動かすことを通して、皆で協力することの大切さを体感していた。

○ネイチャーゲーム「宝探し」

- ・ 森の中の土手部分に、自然にはない木のおもちゃ、竹とんぼなどの工作物を隠すように置き、通路を歩いて宝探しゲームを体験。
- ・ 1回目では見つからなかった物が、折り返して歩いてみると見つかるなど、見方を変えながら、自然の中にあるものを見つける力が養われた。



R3 ライフステージ（すがだいら保育園）_やまほいく事業【まとめ】

○森遊び（ロープを使った遊び、木登りなど）

- ・木にロープを投げ掛け、1本のロープの先にイス代わりの木材を括り付ける形で、順番にブランコを楽しんだ。
- ・2本の大きな木の幹の間にロープを張って、バランスをとりながら綱渡りを体験。
- ・木登りできる木を選び、インタープリターのサポートにより、登り方を覚えた。



○「自然体験の森」から保育園へ

- ・移動中は列になり、安全に配慮しながら帰園。
- ・インタープリターの2人からは、「ロープを使った遊び」や、「自然の中にある色々なものを探すこと」など、今後も体験してほしいとの発言があり、園児たちもしっかり話を聞いていた。
- ・年長の園児からインタープリターの2人に、お礼の品として花を使った作品が手渡された。



総括（全体のまとめ）

<園児の様子>

- ・半日にわたる自然体験活動の中で、年少から年長まで多くの友達と関わりながら、インタープリターの指導のもと、楽しそうに自然に親しむ体験ができていた。
- ・園児たちも真剣に話を聞き、「宝探し」ゲームでの気づきや、ロープを使った遊びの中で体幹を鍛えることなど、様々な学びの機会となった。



<インタープリターの考え方など>

- ・自然体験学習の際には、園児たちの安全を第一に考え、注意事項などをしっかり聞いてもらえるよう、コミュニケーションを取りやすくするために色々と工夫することなどを心掛けている。
- ・子どもたちが興味を持って発する声に耳を傾け、一人ひとりの感性を引き出せるような声掛けが重要と考えている。